

研究炉等安全規制検討会 技術ワーキンググループ

現地調査報告

平成 22 年 3 月 24 日
原子力規制室

1. 日 時：平成 22 年 2 月 4 日（木） 16：30～17：45
2. 調査場所：株式会社ジェー・シー・オー東海事業所
3. 参加者：安念外典委員、川上泰委員、川崎智委員、木村英雄委員、
小佐古敏荘委員、服部隆利委員

事務局：原子力規制室 鎌倉幸雄、江頭基、白木賢次、
石橋和昌

4. 調査内容；

(1) 第 2 管理棟

- ① ブラスト除染ープラズマ切断設備と処理対象物
- ② 再転換設備（非稼働設備）の管理状況
- ③ クリアランスデータ測定器と模擬測定デモンストレーション

(2) 第 2 貯蔵室

- ④ 測定済クリアランス予定対象物の保管管理状況

5. 調査の状況

①第2管理棟 ブラスト除染



状況；

クリアランス予定対象物の廃
ドラム缶のブラスト除染処理
前と処理後



除染処理前



処理後

②第2管理棟 再転換設備（非稼働設備）の管理状況



状況；

再転換設備（非稼働設備）は
そのままの状態での管理。
設備によっては封印を施し、
稼働できないようにしてあ
る。

③第2管理棟 クリアランスデータ測定器



状 況 ;

クリアランスデータ測定器
(電離イオン測定器)により、
クリアランス予定対象物である
除染処理済ドラム缶の切断
片を1枚毎に測定

電離イオン測定器

④第2貯蔵室 測定済クリアランス予定対象物の保管管理状況



状 況；

濃度測定済の切断片は、切断片毎に管理番号を付した上で、1トン毎に保管容器（青色の保管箱）に収納。

保管容器内に測定データも収納し、蓋をして管理。蓋には封印を施してある。

